

大島の柱会

目的	過疎高齢化の影響で人口減少に歯止めがかからない新居大島。伝統行事も担い手が不足している。新居大島で日頃活動している人達や、新居大島に関心のある方が、ここで結集することにより、知恵を出し合い、地域住民の方と共に歩いていながら、地域住民の方の生き辛さを解消する一助になりたい。
成果	地域住民の方を置き去りにした従来型の島おこしではなく、地域住民の方と共に歩いていこうという意識の共有が図れた。

いつ	10月19日	11月16日	12月16日
どこで	まちづくり協働オフィス	まちづくり協働オフィス	まちづくり協働オフィス
何をした	既に大島で活動されている方に、それぞれの活動に対する思いを話して頂いたりしながら、今後どうありたいか話し合った。	大島に関心のある方で、1回目の会に参加できない方にも、参加していただき、大島でどういう取り組みをしたいか、話し合った。	1回目・2回目の経過報告を協議資料として、地域住民の方と共にどう歩いていくか話し合った。チームパンダさんが計画中的大島マルシェについても話し合った。
参加者数	8名	8名	7名
いつ	1月9日	1月17日	2月15日
どこで	大島	まちづくり協働オフィス	まちづくり協働オフィス
何をした	大島の伝統行事である「とおどおくり」の日に、チームパンダさんが主催で行う大島マルシェに合わせて、イリコ飯の試食会やコンサートや有志のサイクリングを行った。	1月9日に行った交流会の報告や、4月16日に中野恵子氏が計画中的イベントの企画について報告して頂きながら、大島活性化について話し合った	それぞれが大島で取り組んできたことを切り口として、大島活性化について話し合った。今後は現地でも、適宜、打合せ会等を行っていくこととした。
参加者数	25名	7名	9名

いつ	3月16日	月	日	月	日
どこで	まちづくり協働オフィス				
何をした	中野恵子氏が4月16日に 計画中の「大人の遠足in 大島」というイベントに関する 話題を中心に、地域住 民の方と共にどう取り組ん でいくか話し合った。				
参加者数	11名				
いつ	月	日	月	日	月
どこで					
何をした					
参加者数					